

～第5次 明日香村総合計画 基本構想～

明日香村を 未来へつなぐ本

— 明日香村読本 —



明日香村

明日香村を 未来へつなぐ本

— 明日香村読本 —

この冊子「明日香村読本」の目的

「より多くの方に明日香村の価値と現状を知ってほしい」

「心のふるさと明日香を次代に引き継ぐ取り組みに関わってほしい」

という思いを伝えるものです。

「明日香村読本」の位置づけ

第5次明日香村総合計画の基本構想をまとめた村の大綱です。

(村づくりの最上位計画 / 計画期間：令和2年～令和11年)

基本計画（令和2年～令和6年）は別冊としてまとめ、村の人口ビジョン（令和2年改訂）に基づく総合戦略（令和2年～令和6年）の役割も果たします。

「明日香村読本」の取り扱い

観光パンフレットではありません。

この読本を手にとりいただいた方々には、この機会に、それぞれの立場で心のふるさと明日香の村づくりにおいて何ができるかを考えていただくことを期待します。

～ 未来へつなぐために ～

明日香村で暮らす人・
働いている人の声



P4

明日香村が目指す
未来のすがた



P8

未来へつなぐ、3つの戦略



P12

明日香村の土地利用



P17

明日香村 DATA



P18

明日香村で暮らす人・働いている人の声





我が国の律令国家が形成された時代における「政治」および「文化」の中心的地域で、日本国が誕生した場所。

特別史跡3件を含む国指定史跡が21件、国宝3件、名勝1件など貴重な遺産が村の全域にわたって数多く存在している。

歴史的風土を守るため、「明日香法」という明日香村のためだけの法律がある。

国営飛鳥歴史公園や飛鳥資料館、万葉文化館など国県の学べる施設が多い。

明日香村の「スゴイところ」→ P18

歴史的文化的遺産に加えて、万葉集で詠われた風景、棚田などの農村環境、集落のまち並み、おんだ祭りや綱掛神事などの祭礼・行事とが一体となって多様な歴史的資産の総体として、歴史的風土が構成されている。

これらは飛鳥時代のみならず、原始から現在に至るまで時代的に重層的に育まれてきたものであり、住民の生活やなりわいの中で現在に継承されてきており、このような環境が一度に揃う地域は非常に希少な存在で、価値のあるものである。

毎年約80万人の観光客が訪れる。





まだまだ未解明な遺跡が多くあり
発掘調査が続いている。

下水道の普及率が高いなど、全村
にわたり住環境が整っている。

新しい元号の「令和」は万葉集を
典拠としているが、我が国最初の
元号は飛鳥時代に定められた「大
化」である。

明日香村の「じっは〇〇」
→ P18

歴史的風土を暮らしながら守るた
めに、家を建てる時などに、さま
ざまな規制がある。その代わりに、
一部の助成も実施されている。

京都・大阪へは電車で1時間圏内、
橿原市など都市に隣接し便利。

まだ世界遺産にはなっていない。

遺跡の多くが地中にあり見えない
ため、価値がわかりにくい。





観光、景観、防犯、交通安全、教育、福祉の分野で ボランティア活動が活発である。

村の環境を活かし、幼小中一貫教育により郷土を愛し、国際人として活躍できる子どもの育成を行っている。

明日香村の「良いとろろ」
→ P19

切れ目のない子育て支援の環境が充実している。

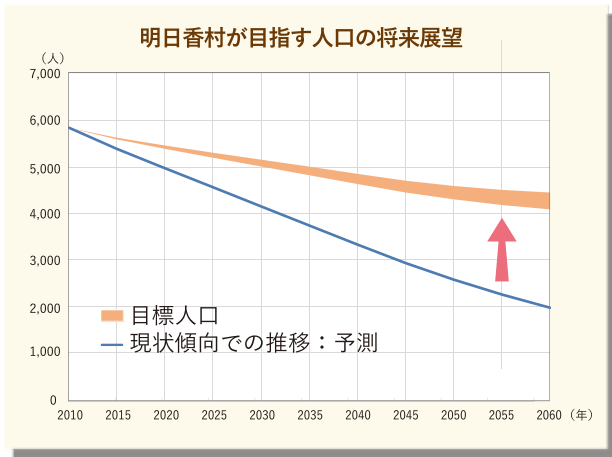
総合型地域スポーツクラブ「楽スポあすか」を通して、健康と元気のある村づくりが進められている。

たくさんの大学と知識や人材を活用できる連携を結んでいる。



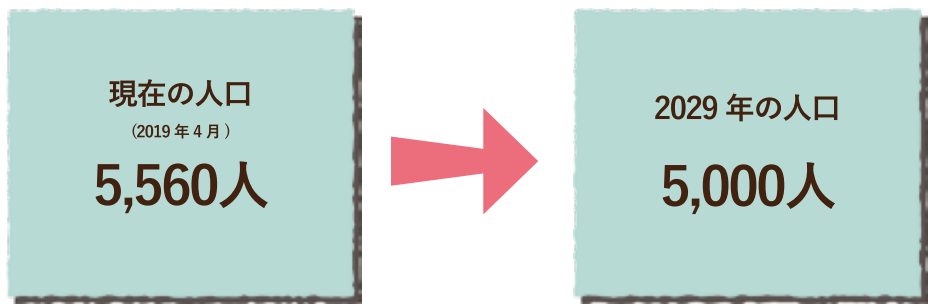
明日香村が目指す未来のすがた

明日香村へ緩やかに吹いている風 — 転入者の増加 —



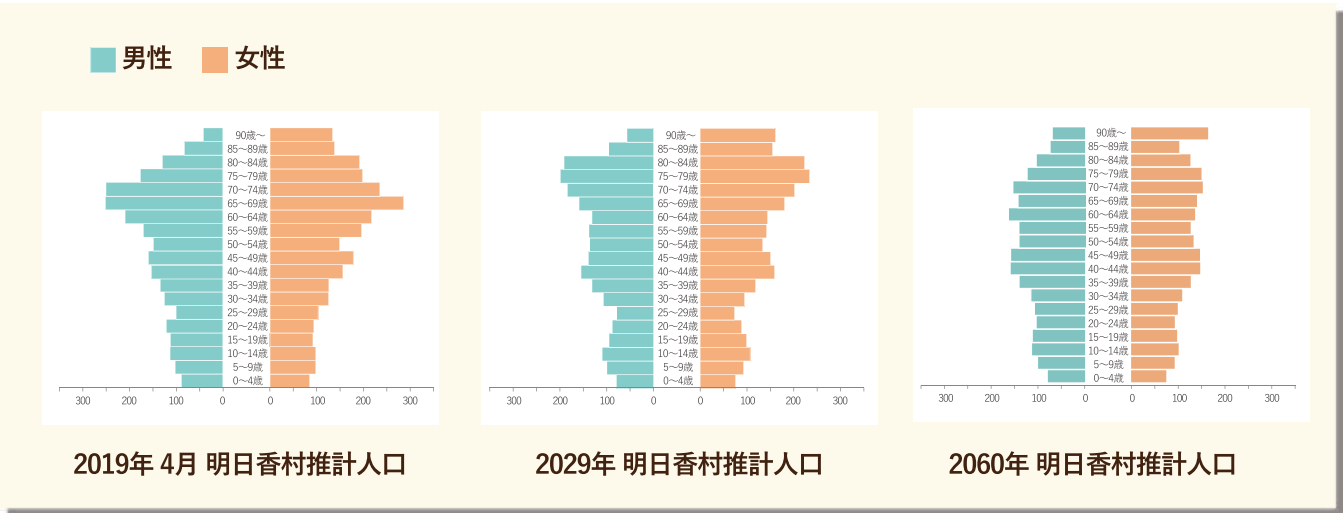
村の人口は、平成2年をピークに減少の一途をたどっていますが、ここ数年転入超過の傾向が見られ、村のあちこちで新しい活動、新しいコミュニティが見られるようになってきました。

この明日香村へ緩やかに吹いている風を取り込み、明日香村を支える村民が暮らす快適な暮らし環境を整えることで、目標年次(2029年)には5,000人の人口とすることを目標とします。また、2060年には4000人程度の人口を確保することを目指します。



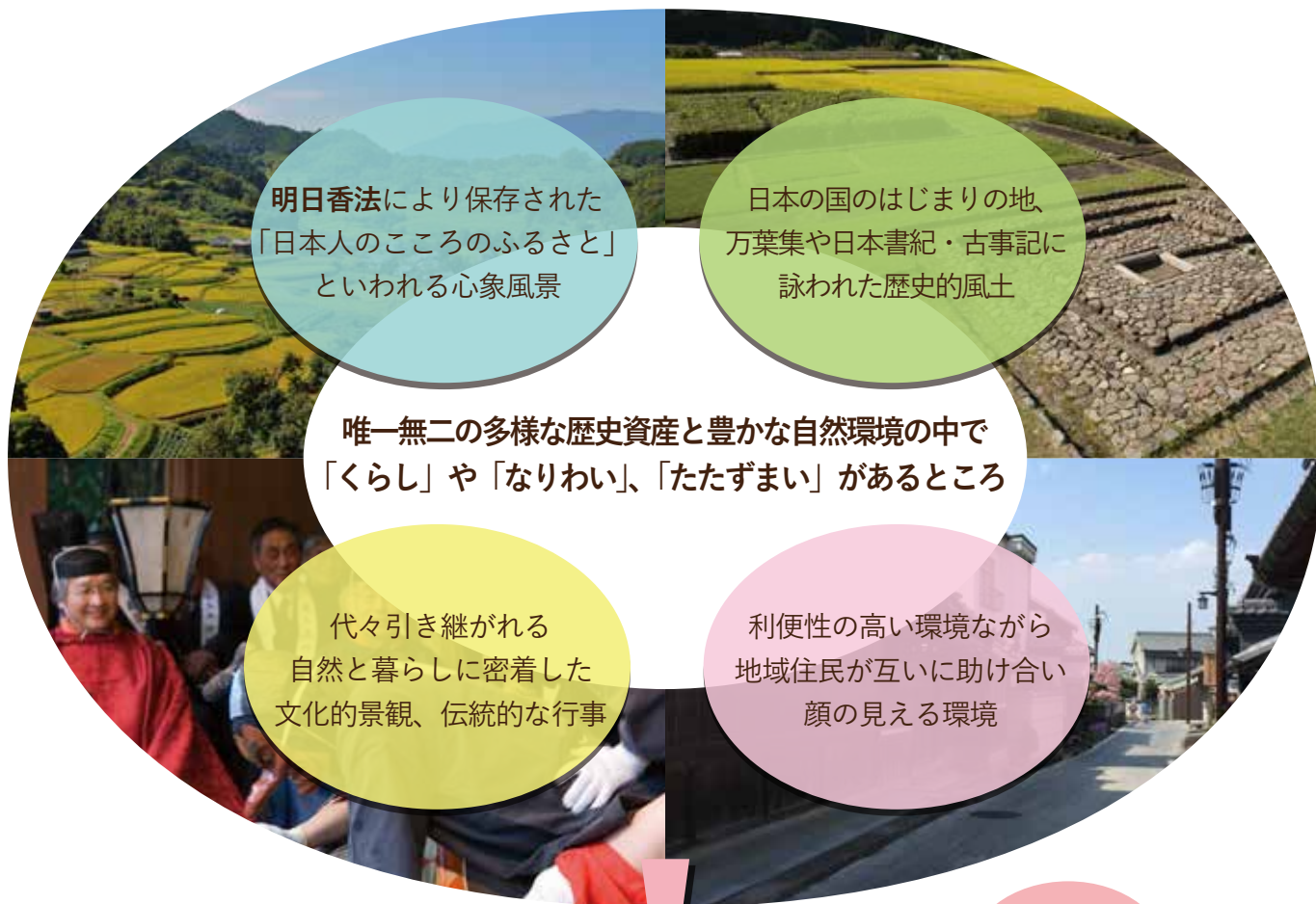
バランスのとれた人口構成に

将来推計となる 2060年の人口ピラミッドは、2019年と比較し総人口は減少するものの、働き手・子育て世代と子どもの人口は一定数確保され、バランスのとれた人口構成を目指します。



明日香村が目指す むらづくり

明日香村の価値



協働による村づくり

様々なノウハウや考えを持った多様な人材が、明日香村を支えるパートナーとして、みんなで地域課題を克服できる明日香村を目指します。



明日香村の目標 (将来像)

村民にとってより暮らしやすく豊かさが感じられる

**「いつまでも住み続けたい」
そう思える夢ある村**
(くらしの環境づくり)

来訪者にとって魅力的で村民も元気に。歴史文化・自然の輝き・人の営みを

**五感で体感できる
「明日香まるごと博物館」**
(活動・交流のむらづくり)

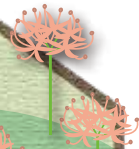
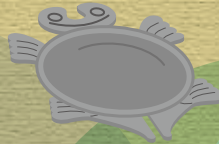
明日香まるごと博物館 とは？

明日香まるごと博物館 / 三つのゾーン

「明日香まるごと博物館」は3つのゾーンに分けられます

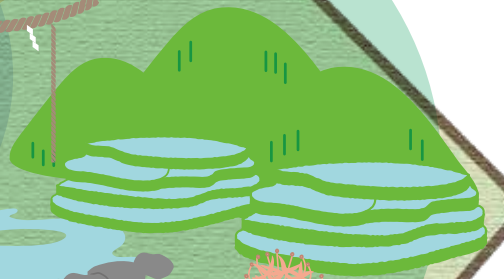
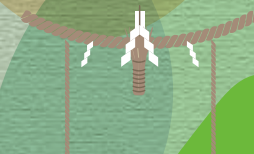
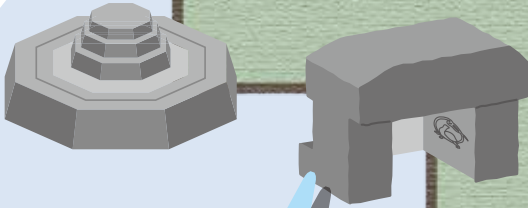
飛鳥京 歴史ゾーン

飛鳥時代、遣隋使・遣唐使、大化の改新など、日本の枠組みが形成された歴史の舞台が広がるエリア



奥津城 古墳ゾーン

高松塚古墳壁画、キトラ古墳壁画、日本を代表する終末期古墳・陵墓などが点在するエリア



奥飛鳥 自然ゾーン

飛鳥川、棚田、女綱、男綱など自然と共に生きる日本人の心象風景が息づくエリア

※奥津城（おくつき）…墓所のこと。

明日香村は、飛鳥時代の歴史や文化だけでなく、脈々と繰り返されてきた人々の営みから育まれてきた文化や歴史的風土を、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）を最大限に使って感じ楽しめる場所です。

「明日香まるごと博物館」づくりでは、この恵まれた環境を最大限に活用し、村全体を屋根のない博物館として、五感を使った明日香村の楽しみ方を充実させていくことを目指します。

明日香まるごと博物館のイメージ

屋根のない博物館で、歴史文化、自然、営みを体感
 明日香の潜在価値を村民・来訪者が引き出し、博物館の魅力を創出
 何度も来たくなる、新たな魅力の発見、人と人との交流、参加型で創る博物館

観

見どころ

- ・宮跡・遺跡
 - 飛鳥宮跡
 - 水落遺跡
- ・石造物
 - 亀形石造物
 - 猿石 - 亀石
- ・古墳
 - 石舞台古墳
 - 牽牛子塚古墳
- ・古墳壁画
 - キトラ古墳
 - 高松塚古墳
- ・寺社・史跡
- ・歴史的な街並み
- ・棚田の田園風景

感

体験

- ・農業体験
 - オーナー制度
- ・発掘体験
 - 現場見学会
- ・周遊歩道・古道
 - ウォーク
- ・学習の場
 - 飛鳥学
- ・観光イベント
 - 古都飛鳥文化祭
- ・伝承芸能
- ・万葉集の世界
- ・歴史公園
 - 国営飛鳥歴史公園
- ・マラソン



泊

宿

- ・宿泊施設誘致
- ・民宿
 - ゲストハウス
 - B & B
 - ペンション
- ・教育旅行

食

食事処

- ・地産地消
- ・古民家レストラン
- ・郷土料理
 - 飛鳥鍋
- ・起業
- ・店舗誘致

買

お土産

- ・お土産どころ
- ・農産物加工所
- ・チャレンジショップ
- ・道の駅
- ・飛鳥ブランド

村づくりの基本方針

1

村民が 「健康に暮らし、次代を担う子どもたちが育つ村づくり」

誰もが健康で夢を持って暮らせる環境や次代を担う人材が育つ環境をみんなで作っていきます。

2

全村まるごとを活用した 「活力ある村づくり」

村全体の景観や貴重な文化財をはじめとする村にある特徴的な資源を最大限に活用し、村全体が観光を基軸とし農・林・商・工の分野がそれぞれ活気づく活力ある村づくりを行っていきます。

3

「明日香らしいたたずまいを感じられる村づくり」

明日香らしい古都の「たたずまい」を感じられる歴史的風土を村民が、行政が、明日香村に関心を持つ方々が、それぞれの立場で自然の彩りの育成や歴史的文化的資源の見える化、文化の継承や創造に取り組んでいきます。

明日香村の指標



転出者より転入者が
多くなる

※人口社会増 30人 / 年



人が訪れ交流が生まれ
経済が活性化する
(宿泊者増)

※宿泊客数 5万人 / 年



歴史展示をすすめ
世界に明日香村を発信する

村づくりの体系

～ 志縁活動 ～ 企業・大学・NPO 団体など

～ 地縁活動 ～ 大字・消防団・老人会・婦人会など

くらしの環境づくり

子育て・教育・健康・医療・地域福祉

- ① 特色ある歴史的環境で「次代を担う子どもが育つ村」
- ② 万葉の地で「元気にいきいきと暮らせる村」

社会基盤づくり

道路・水路・河川・上下水道・防災・公共施設・情報通信・交通・定住

- ③ 古都にふさわしい「安全・安心で生活しやすい村」

～ 五感で体験 ～

明日香まるごと博物館づくり

文化財・景観・農林業・商工観光・雇用

日本
遺産

世界
遺産

観

見どころ

感

体験

泊

宿

食

食事処

買

お土産

- ④ 古代史の舞台で「交流を促し元気のある村」

- ⑤ 世界遺産登録による
「歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村」

志縁活動…………… ボランティア団体、NPO法人、スポーツクラブなど特定の目的で集まった組織による活動
地縁活動…………… 自治会、PTAなど居住地域を対象とした組織による活動

明日香村で子育てしたいに答える

子育てや人づくりの充実を図り、「明日香村で子育てがしたい」ニーズに応えられる環境づくりを目指します。また、子どもたちが地域の行事に参加し、地域のことを学び地域によって育てられる環境づくりを推進します。

明日香村を支える人材の育成

郷土愛や誇りを持った、心身ともに健やかな個性を育むため、学校、家庭、地域が一体となった人が育つ教育環境づくりを進め、明日香村を支える人材の育成を目指します。

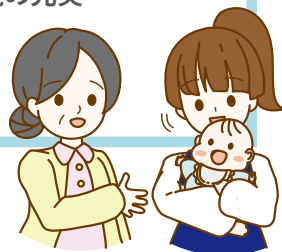
みんなが進めてもらいたいこと

- ①地域コミュニティ活動
・あいさつ運動 ・学校環境整備
- ②子育て支援
・ファミリーサポート ・支援団体
- ③スポーツ振興
・楽スポ



村役場で進めること

- ①明日香村で子育てしたくなる環境づくり
- ②明日香ならではの教育環境の充実



生涯にわたって 健やかで生きがいのある生活を安心して送る

子どもから高齢者、障がい者など村民の誰もが、生涯にわたって健やかで生きがいのある生活を安心して送ることができるよう、学べる機会の創出や、地域ぐるみで支え合う村民による自主的な活動を促進しながら、心のケアや保健・医療・福祉の充実を進めます。



みんなが進めてもらいたいこと

- ①地域福祉活動
・訪問員
- ②生きがいづくりの運営



村役場で進めること

- ①地域で支え合う福祉活動の充実
- ②健康づくりの推進



住みよい生活環境の整備

道路、公共交通、上下水道、情報通信、防災拠点などの都市基盤の充実を図り、自然と調和した快適で住みよい生活環境の整備を進めます。

住みたい気持ちを受け入れる移住・定住環境の整備

「明日香村に住みたい」気持ちを受け入れる移住、定住環境づくりをするなど、「住み続けたい、住みたくなる村づくり」を目指します。

安全・安心な環境形成

大規模災害にも対応できるよう防災対策や消防・救急体制の強化に取り組むとともに、住民の防災・防犯活動とも連携し、安全・安心な環境形成を進めます。



みんなで進めてもらいたいこと

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ①地域づくり活動の推進
・地縁団体・営農団体 | ④交通安全
・交通安全協会 |
| ②防災対策
・自主防災会・消防団 | ⑤住宅地の創出 |
| ③防犯対策
・青パト・防犯会 | ⑥空き家バンクへの登録 |

村役場で進めること

- ①生活環境の整備
- ②良好な市街地形成・秩序ある土地利用の促進
- ③災害等に備える安全・安心対策の推進



農地・林地の保全

明日香を支える農林業が安定して持続的に行われ、農地・林地が適切に保全されるよう、従事者や有識者等との連携により、戦略を検討し、6次産業をはじめとする地域産業として農林業活性化の取り組みを進めます。

明日香の魅力の発信

恵まれた文化財や景観等を活かし、戦略的なイメージづくりにより村の魅力を発信します。

明日香らしい観光振興、農林業・商工業の振興、雇用の創出

明日香の魅力を活かした交流産業で明日香村を体感する人を増やしつつ、産業誘致や起業等により観光産業のすそ野の広さを活かした農林商工業の振興を図るとともに、雇用の創出に努めます。



みんなで進めてもらいたいこと

- ①農林商工業を活性化させる仕組みづくりへの参画
- ②6次産業化の参画
- ③起業及び企業立地の促進



村役場で進めること

- ①集い働き住みたくなる環境づくり
- ②魅力の向上と交流による観光振興を踏まえた活性化の推進



「文化財」「農・林」「暮らし」が一体の景観づくり

継続して文化財の保存を進めつつ、「明日香らしさ」の重要な要素である「文化財」と「農・林」と「暮らし」が一体となった彩りや趣のある景観を守り育て、それらの資源を活用し、次代の人々に継承するとともに、世界遺産登録を目指します。

過去から現在、未来につながる明日香の文化の創造

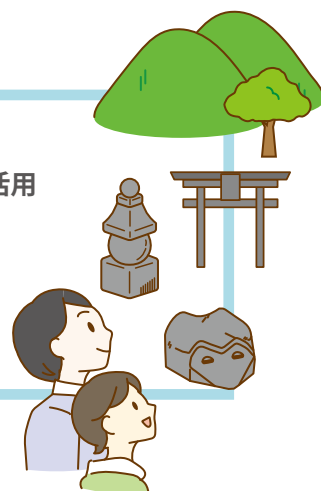
各地の祭礼行事や文化活動、伝統芸能の継承を支援するとともに、明日香の価値を内外に情報発信し、多様な人々との連携を進め、過去から現在、未来につながる明日香の文化の創造を目指します。

みんなで進めてもらいたいこと

- ①景観づくり活動
- ②里山・樹種転換活動
- ③芸術・文化・祭礼行事等の活動継承

村役場で進めること

- ①歴史的文化的資産の保存と活用
- ②世界遺産登録
- ③明日香の価値の継承と創造



～柔軟かつ着実な取組みを推進するために～

協働による村づくり

住民や団体、企業、大学などが主体となり
行う取組に対し行政が支援を行う

住民・大字・NPO団体・
企業・大学など

施策を達成するための取組の
啓発と支援

行政

行政が主体となり

施策に基づく事業を毎年度毎に精査を行い
より有意義でより効率的な事業を展開する。

予算へ
積極的に反映

Plan
(計画)

Action
(改善)

年度途中でも
見直し改善

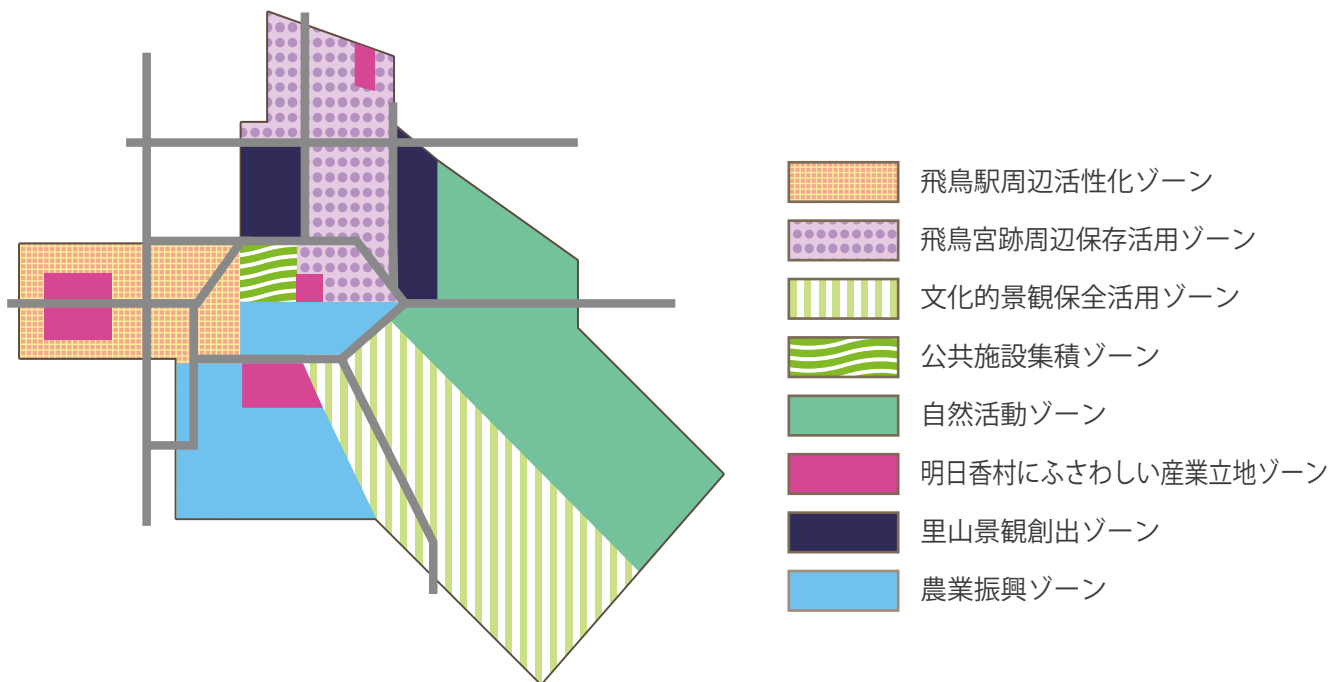
Do
(実施)

Check
(評価)

財政支援

・ふるさと納税（企業・個人） ・国や県

歴史的風土を保全しつつ文化資源を活用し、人々の営みが活性化する土地利用を進めます。



飛鳥駅周辺活性化ゾーン

国道沿いには、村民の生活を便利にし、来訪者をもてなし、交流するための施設の誘致を優先的に行います。市街化区域では一般住宅の建設による定住を促進します。

また、価値のある古墳群を活用した広域連携による周遊の場や農業体験などの都市農村交流の場として村の魅力発信を図ります。

飛鳥宮跡周辺保存活用ゾーン

飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池を適切に保存活用し、飛鳥時代を体感できる空間を創ります。

隣接する集落では、歴史をゆっくり味わうための宿泊施設や、歴史探索でホッと一息つける喫茶店や飲食店など賑わいを創るとともに、芸術や伝統的な芸能を体感できる場も創ります。

文化的景観保全活用ゾーン

棚田や集落の風景を守り、それぞれの集落が昔から培ってきた伝統行事や暮らしの中での飛鳥川や山林との関わりなどの営みを守ることで、後世に伝えます。

さらに、都市住民が滞在して自然を体験し、村民と交流する取り組みを促します。

※農住環境の拡充

これらゾーンの特性と重ねて既存集落及びその周辺での住宅開発など農住環境の拡充を目指します。

公共施設集積ゾーン

公民館、健康福祉センター、診療所、建設事業を進めている役場庁舎など公共施設を集積することで、村民が効率的に利用できるコミュニティ拠点を育成します。

また、村内外の人々が交流し、情報交換する場の空間を創出します。

自然活動ゾーン

森林・棚田景観の保全など景観形成を進めつつ、樹種転換などの森林整備や間伐材の有効利用における自然体験の場としての活用の展開を図ります。

明日香村にふさわしい産業立地ゾーン

明日香村の歴史や風土に共感する企業の誘致や起業を促進し、明日香村の経済活性化を図ります。

里山景観創出ゾーン

飛鳥宮跡を取り囲む里山は、樹種転換により四季の彩りを感じられる里山景観を創出します。

農業振興ゾーン

点在する当時の天皇や皇族などの陵墓と歴史的景観が調和した独自の景観を創出するとともに、野菜や果樹、米など生産農業の促進を図りながら、観光農園・オーナー制度など農業を通じた交流が生まれる展開を進めます。

明日香村の「スゴイところ」



数多くの史跡

明日香村には、国指定の史跡が 21 件、うち特別史跡が 3 件、国重要文化的景観が 1 ヶ所あります。また**国指定の国宝が 3 件、重要文化財が 20 件、県指定文化財が 5 件、村指定文化財・天然記念物・無形文化財が 7 件**あります。

出典：明日香村



▲高松塚古墳（特別史跡）



▲キトラ古墳（特別史跡）



▲石舞台古墳（特別史跡）



▲高松塚古墳壁画（国宝）



▲キトラ古墳壁画（国宝）



▲木心乾漆義淵僧正坐像（国宝）

明日香村の「じっは〇〇」



「明日香法」で守られた町並み

明日香法により市街化区域や用途地域を含め、村全域に歴史的風土特別保存地区の規制がかかっており、歴史的風土を保存するために、**住民は自宅の新築、改築などの様々な行為に対して許可等が必要になります。**

移住して住宅を新規で建てる場合は、限られた市街化区域や一部調整区域の中で土地を確保するか空き家を活用する必要があります。住民のこれらの保存行為により、村全域が良好な歴史的景観として維持されており、国等からの支援もこの町並みを守るために大きな役割を果たしてきました。



▲電線類地中化地区（岡）



▲金融機関



▲コンビニ

「明日香法」とは？

「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」

都市化の波が押し寄せていることや、規制による保存区域に指定された土地の現状維持を図るだけでは、生活環境や産業基盤の脆弱さが解消されないことから、識者、マスコミ、村民が一体となって、保存の担い手である住民生活との調和を図られる法制度を全国に向かって声をあげました。

その結果、村全域を対象に、古都保存法の特例として制定されました。



明日香っ子の思い

小学高学年～中学生の 93%が、明日香村の風景を「美しい」と思っています。

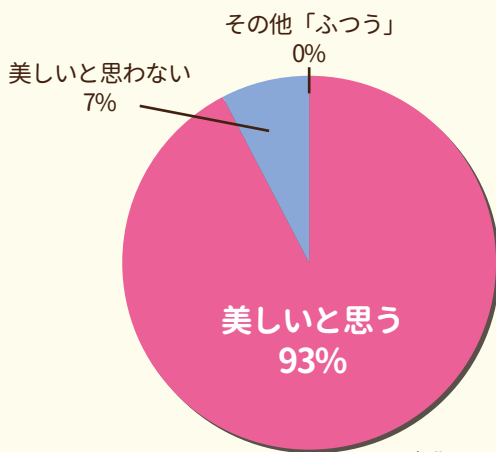
また 2 人に 1 人は、「古代に都があった歴史」「たくさんある貴重な古墳や宮跡などの文化財」「昔ながらの落ち着いた風景」が自慢であり大切にしたいと思っています。

幼小中
一貫教育

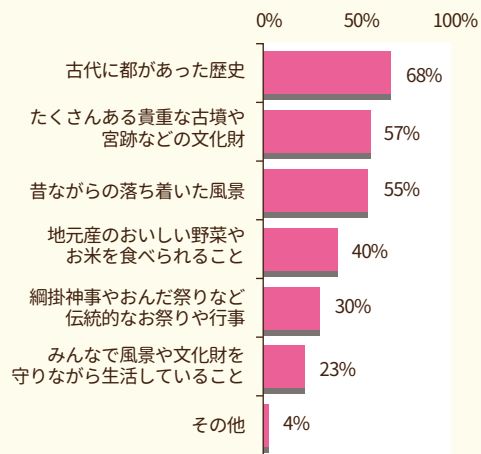
子育て



あなたは、明日香村の風景をどう思いますか？



あなたが、明日香村のなかで大切にしたいもの、自慢（じまん）できるものはなんですか？（複数回答）



出典：明日香村「むらづくり」アンケート
(小学 5 年～中学生 3 年生対象) 平成 30 年実施

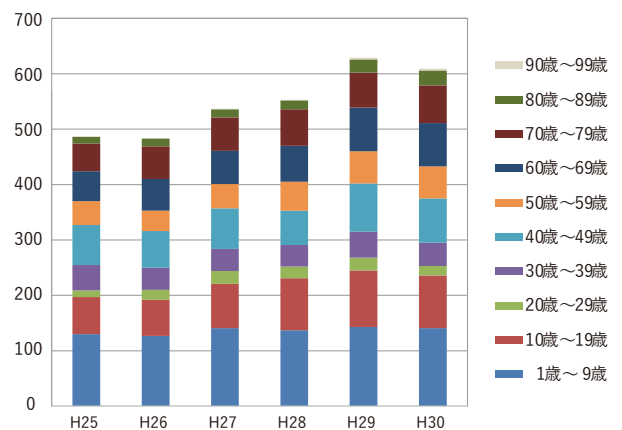
「たの楽スポあすか」で子どもからお年寄りまでスポーツを楽しむ



総合型地域スポーツクラブ「楽スポあすか」は、幼児から高齢者まで「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」楽しく安全にスポーツ・文化活動に親しみ、住民間の交流機会の拡充を図り、**世代間を超え、個々のライフスタイルに合わせて気軽にスポーツに親しむ環境を提供しています。**「楽スポあすか」の会員数は年々増加しており、どの年代でも会員数は増えています。

出典：明日香村

楽スポ



総合型地域スポーツクラブ「楽スポあすか」の会員数





※冊子内の写真は一部を除き「明日香路を写そう写真コンクール」入賞作品から掲載しています。

第5次明日香村総合計画基本構想 — 明日香村読本

令和2年3月 発行・編集：明日香村
〒634-0111 奈良県高市郡明日香村大字岡 55 番地
TEL：0744-54-2001 FAX：0744-54-2440